










# 日出生台演習場10号廠舎屋根補修工事

日出生台演習場10号廠舎屋根補修工事					
図面名称 表紙					
縮尺	-	図面番号	1/3	作成年月日	令和5年1月20日
業務隊長		管理科長		演習班長	
		管理科長		演習班長	
		管理科長		演習班長	
		管理科長		演習班長	
陸上自衛隊 湯布院駐屯地業務隊 管理科					

# 仕 様 書

- 1 件 名 : 日出生台演習10号廠舎屋根補修工事
- 2 場 所 : 大分県玖珠郡玖珠町 陸上自衛隊 日出生台演習場廠舎地区
- 3 概 要 : 廠舎屋根補修工事 1式

## 4 一般事項

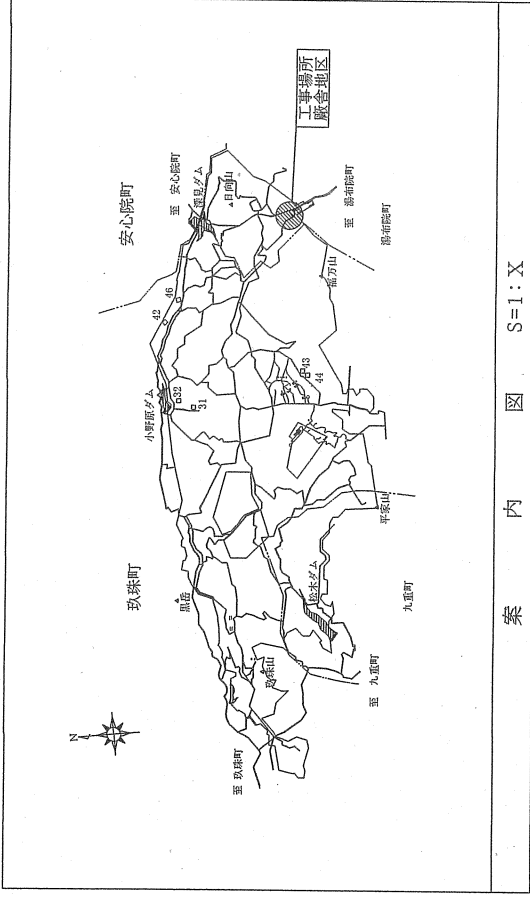
- (1) 本工事は、本特記仕様書及び本設計図によるほか、国土交通省大臣官房官庁營繕部制定「公共建築工事標準仕様書」「公共建築改修工事標準仕様書」及び関係諸法規に基づき施工する。(以下標準仕様書)
- (2) 事前に工程表を提出し監督官の承認を得る。
- (3) 工事中の安全管理には十分留意し、火災・事故等が発生しないよう万全を期す。また、隊員もしくは郡外者に損害を与えた場合、請負者が補償、賠償の責を負うものとする。
- (4) 本工事に伴う演習場内建物等施設への立ち入り、その他制限事項等は、当該屯地の諸規則に従うこととし、必要の都度監督官から指示を受ける。
- (5) 土日祝日の作業は原則実施しないとする。但し天候等やむを得ない理由で工期に支障が出る事が予測される場合は、監督官と協議することとする。
- (6) 本工事に使用する電気、水は請負者で準備することとする。
- (7) 本工事に際し、取り合い上及び技術的に当然すべき事項については、請負業者の責任において施工するものとする。また、本仕様書及び工事に際し疑義を生じた場合は、監督官と協議した後、実施する。
- (8) 工事中、他の箇所に浮損又は破損等を及ぼした場合は、速やかに監督官に報告するとともに請負者の責任において速やかに現状復旧するものとする。
- (9) 写真は、作業前・作業後・主要な施工段階毎及び監督官の指示する箇所を撮影(デジタルカメラ可)し、工事用写真帳に整理し、1部提出する。尚、写真データについては、消失及び情報漏れ防止を徹底し厳重に管理する。
- (10) 本工事で発生する発生材は金屑類については計量し監督官へ引き継ぐものとし、その他の発生材については、関係諸法規を遵守し適切に処分し、マニフェストE票の写しを提出すること。

## 5 特記事項

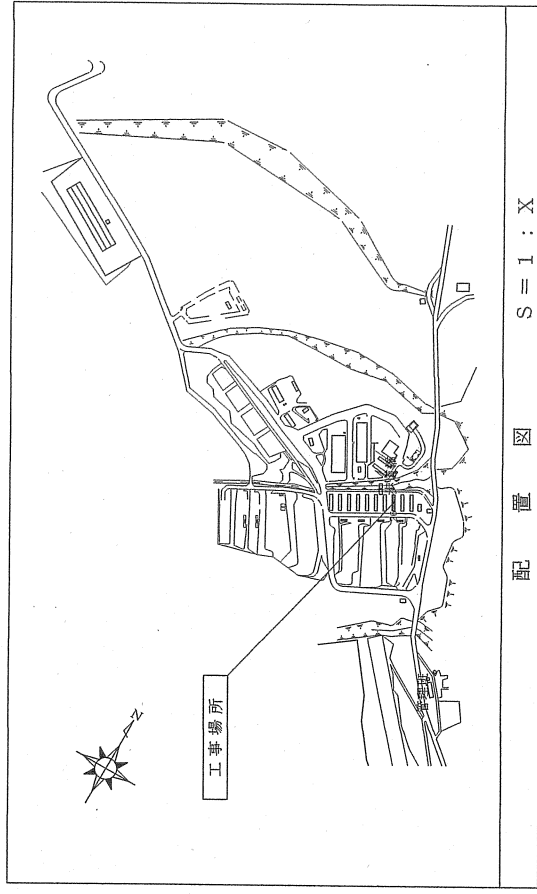
- (1) 鉄骨工事
- (7) 陸量形鋼は、既設鋼材と溶接し接続するものとする。

## (2) 屋根工事

- (7) 下葺材は、JIS A6005によるアスファルトルーフィング940又は改質アスファルトルーフィング下葺材とし、上下(流れ方向)は100mm以上、左右(長手方向)は200mm以上重ね合わせるものとする。
- (4) ガルバニウム鋼板については、事前に監督官に承認図等を提出し、承認を受けた後に施工するものとする。

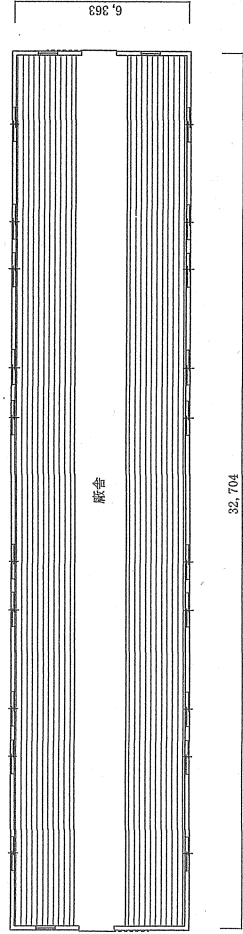


案内図 S=1:X

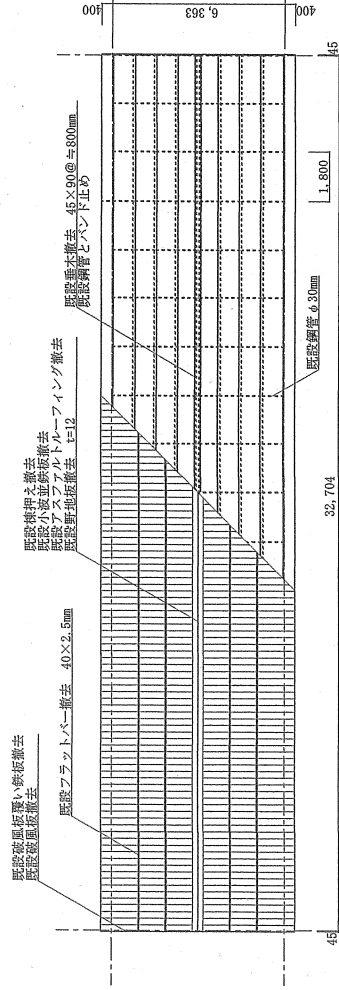


配置図 S=1:X

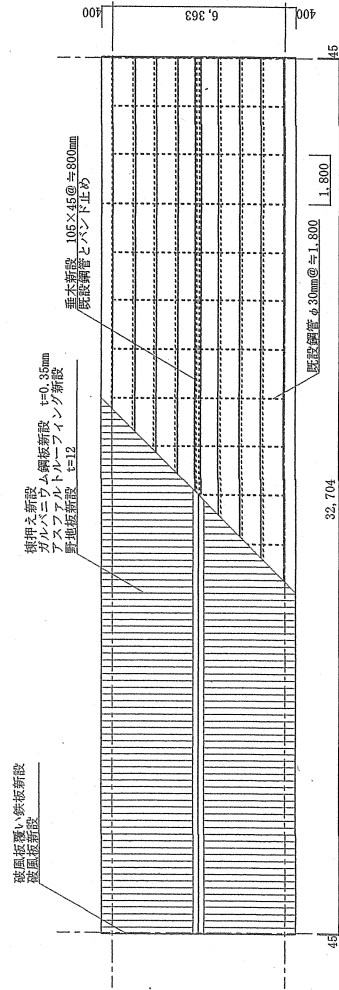
件名	日出生台演習場10号廠舎屋根補修工事		
図面名称	仕様書・案内図・配置図		
縮尺	—	図面番号	2/3
		作成年月日	令和5年1月20日
陸上自衛隊 湯布院駐屯地業務隊 管理科			



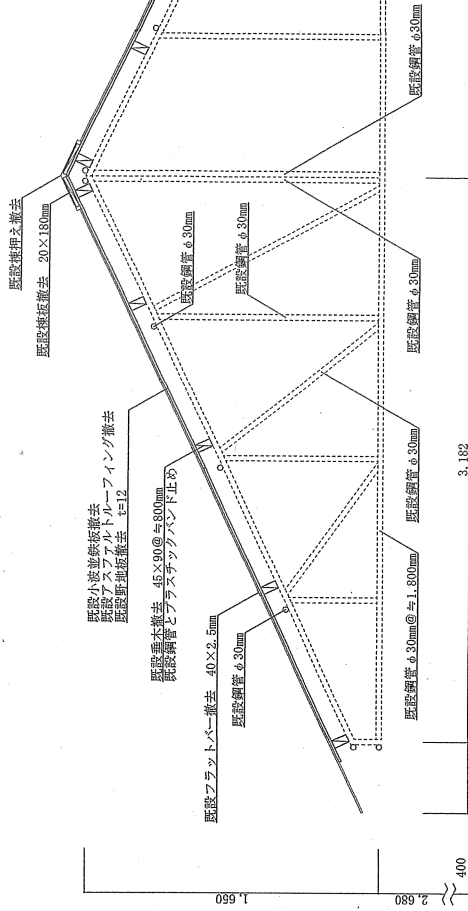
I 0 号 廠舎 平面図 S=1:200



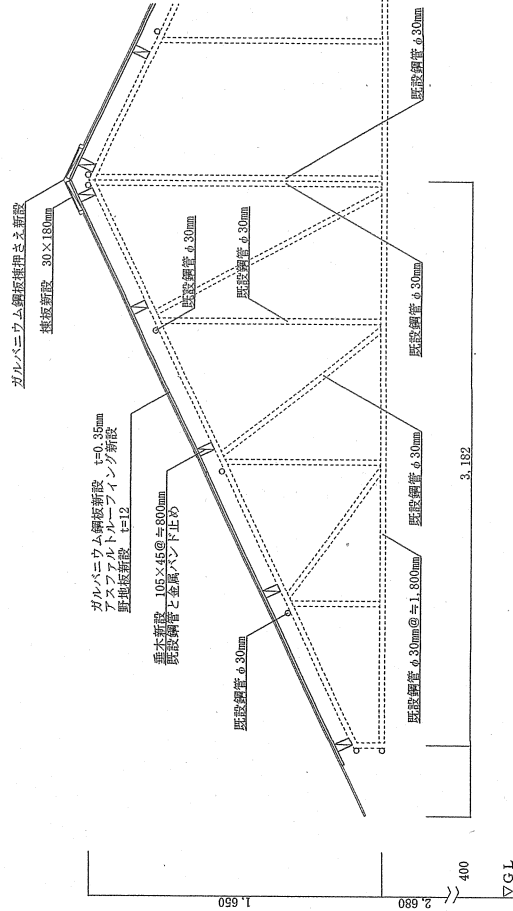
既設屋根伏図 S=1:200



補修後屋根伏図 S=1:200



既設小屋組断面図 S=1:30



補修後小屋組断面図 S=1:30

件名 日出生台演習場 10号 廠舎 屋根補修工事

図面名称 平面図・断面図

縮尺 1/300 図面番号 3/3 作成年月日 令和5年1月20日

陸上自衛隊 湯布院駐屯地業務隊 管理科